

有機酸に強い!

デリックガード

速硬化型・低臭ビニルエステル系 塗り床材



デリックガードは、耐有機酸性に優れた低臭気の塗り床材で、醸造工場・製菓工場・漬物工場等のコンクリート床を保全し衛生的な環境を提供します。また、湿潤面への施工も「ウェットガードプライマー」を用いて施工可能となるため、工期の短い現場にも対応出来ます。

無鉛

速乾性

耐酸性

低臭

●特長

1 抜群の耐有機酸性

従来のエポキシ・硬質ウレタン樹脂と比較して、はるかに優れる耐酢酸性（有機酸）を誇ります。

2 湿潤面・耐熱性

湿潤コンクリート面に密着するウェットガードプライマーと組み合わせることで、短期工法ならびに耐温冷繰り返し性・耐熱水性を実現しました。

3 低臭気・速硬化性

従来のポリエステル・MMA系塗り床材に比べ、大幅に臭気が少なく塗装後3時間で歩行開放が可能です。

4 耐候性・耐汚染性

エポキシ・ウレタン樹脂に比べ、紫外線による変色がしにくく、他の厚膜仕上材と比べ耐汚染性が良好で、防滑面においても水洗いできれいになります。

●用途

- 食品加工工場
- 醸造工場、漬物工場、酢酸を使用する工場
- 厨房
- 倉庫(バックヤード/ウェットエリア)
- その他、短工期・耐薬品性を要求される場所

●内容量・荷姿

- デリックガード基材 15kg / 石油缶
- デリックガード専用骨材 8kg / 袋
- DG 硬化剤 328E 5kg / ポリ容器
- DG 促進剤 1kg / 1L 角缶
- DG 低臭トナー 1kg / 1L 丸缶

※材料の配合比は気温等により変化します。ご使用前に当社にお問い合わせください。

●色

- 標準色 1色 グリーン
- 受注生産色 5色 ライムグリーン、ライトグレー、ベージュ、アイボリー、スパニッシュブラウン

(23℃ 1ヶ月浸漬、※部は23℃ 1週間浸漬)

●性能表－耐薬品性

		濃度	デリックガード	MMA 床材	無溶剤エポキシ
アルカリ	水酸化ナトリウム	30%	○	○	○
	水酸化カリウム	30%	○	○	○
	アンモニア水	25%	○	○	若干艶びけ△
	飽和石灰水	飽和	○	○	○
酸	次亜塩素酸ソーダ	有効塩素濃度 1%	○	○	○
	塩酸	有効成分で 10%	○	○	若干白化△
		有効成分で 36%*	○	白化×	○
	硫酸	30%	○	○	白化△
		100%*	崩壊××	崩壊××	崩壊××
	酢酸	30%	○	○	崩壊××
		100%*	○	×	×
	乳酸	30%	○	○	崩壊××
		100%*	○	白化×	×
	硝酸	有効成分で 30%	黄変×	黄変×	黄変×

(当社社内試験比較による)

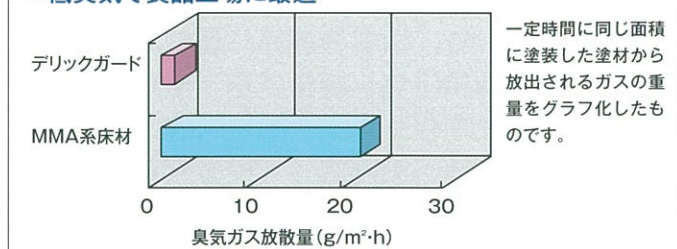
●耐熱性

	試験結果	条件
煮沸試験	10 サイクル 膨れクラックなし	沸騰水 8 時間⇔冷水 16 時間
熱水冷水 サイクル試験	1000 サイクル 膨れクラックなし	80℃ 20 分 ⇔ 15℃ 10 分

フロアトップ #8000 耐熱・フロアトップ U-100NEO 同等の耐熱性能があります。
施工仕様は、下塗りにウェットガードプライマーの工法を選んでください。

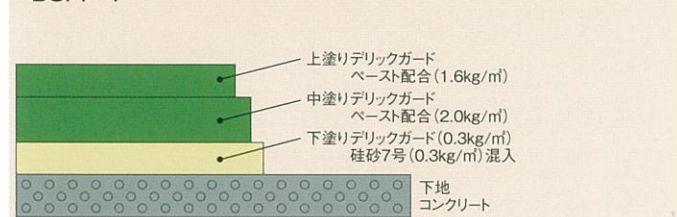
●低臭気データ

●低臭気で食品工場に最適

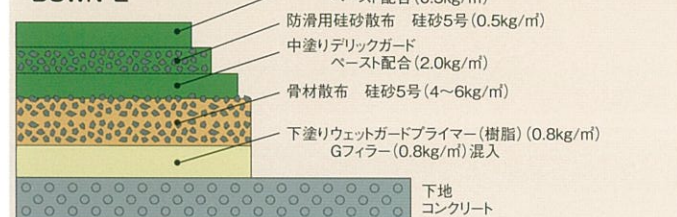


●デリックガード工法例

一般コンクリート平滑工法 新設 2.5mm厚 DGPP-1

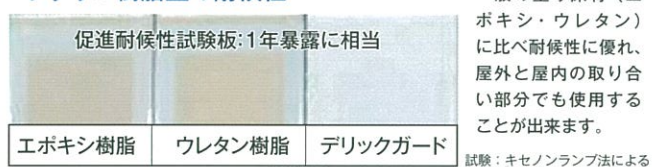


湿潤面防滑工法 WG4.0mm厚 DGWN-2

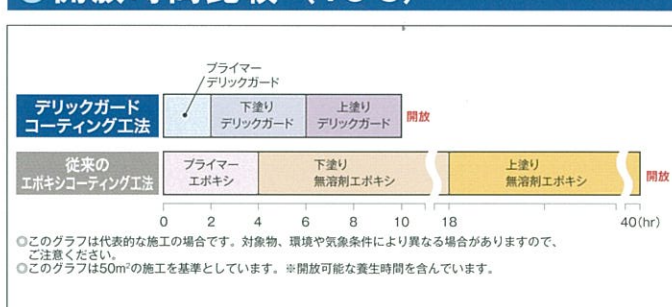


●耐候性

●アクリル樹脂並の耐候性

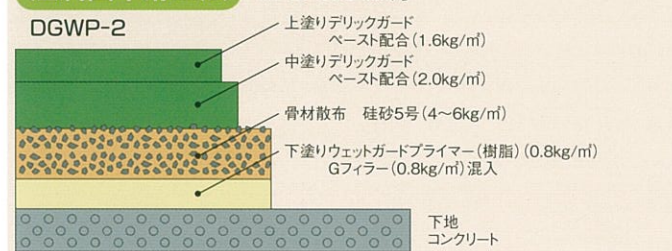


●開放時間比較（10℃）



※詳しい施工方法・塗布量等は別途仕様書をご参照ください。

湿潤面平滑工法 WG4.5mm厚 DGWP-2



油面防滑工法 # 500 油面 2.0mm厚 DGYN-1



注意事項

1. 塗装(施工)前の注意
 - (1) 5℃以下の場合には、塗装を避けてください。
 - (2) 降雨・降雪・高湿・高温時およびその恐れがある場合には、塗装を避けてください。
 - (3) 下地調整は、塗料の付着量を決定する重要な工程です。施工仕様書等をよくお読みの上、充分注意して行ってください。
2. 塗装(施工)中の注意
 - (1) 塗装中は、換気をよくし、火気の取扱いは厳禁してください。
 - (2) 材料の計量・混合攪拌は、はかりおよび電動攪拌機を用いて行い、可使時間(ポットライフ)にも充分注意して塗装してください。また、小分けする場合は、必ず小分け前に充分に攪拌し、均一にしてから主剤・硬化剤の配合比(重量比)を守るようにはかりで正確にはかり取り、その後混合攪拌を行ってください。
 - (3) 主剤と硬化剤を混合したまま放置すると硬化が進行し発熱します。その際、容器に触ると火傷を起こす恐れがありますから、混合した塗料は、出来るだけ早く使いきってください。
 - (4) 周辺での火気、スパーク、高温物は使用しないでください。
 - (5) 静電気対策のため、使用する装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用してください。
 - (6) タンク内部の密閉場所で作業をする場合には、密閉場所、特に底部まで充分に換気出来る装置を取り付けてください。
3. 塗装(施工)後の注意
 - (1) 湿度が高いとき、気温の低いときは乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では、常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
4. もしもの場合
 - (1) 皮膚に付着した場合は、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。

- (2) 眼に入った場合は、多量の水で洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。誤って飲み込んだ場合は、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- (3) 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
5. 塗装面別の注意
 - (1) 新設コンクリートは最低4週間以上の養生が必要です。素地コンクリートに水分が多い場合は塗装を避けてください。塗装前に素地にポリシート(1㎡以上)を張り付け、翌日、素地が黒くなったり、ポリシート内面に水滴の付着がないことを確認した後塗装してください。(ケット水分計 HI-520 で測定した場合の水分量がロモードで700以下、チャンネル4で5%以下を目安にする)
 - (2) 既存塗膜面の塗り替えは、既存塗膜の除去が必要を確認し、除去しない場合は、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。
 - (3) コンクリート面をドライバー等の金属で引っかけても傷がつきにくく水が浸透しにくい強化コンクリートの場合やさらに油汚れが付着している面では、下地処理の方法や下塗材の種類が異なりますので、当社にお問い合わせください。
6. 全般的注意
 - (1) 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項および SDS (安全データシート) をよくお読みください。
 - (2) 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
 - (3) 改良等のため、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
 - (4) 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
 - (5) 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明の点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

アトミクス株式会社 塗料事業部

〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 ☎ (03) 3969-3125 (直通) FAX. (03) 3968-7300

■本 社 〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 ☎ (03) 3969-3111 (代番) FAX. (03) 3968-7300
 ■加須受注センター 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内) ☎ (0480) 65-1154 FAX. (0480) 65-6909
 ■大 阪 支 店 〒574-0053 大阪府大阪市新田旭町2-22 ☎ (072) 872-3111 FAX. (072) 872-1222
 ■仙 台 営 業 所 〒982-0011 仙台市太白区長町6-8-7(ハイコートアイ1F) ☎ (022) 249-7371 FAX. (022) 249-7372
 ■新 潟 営 業 所 〒950-0982 新潟市中央区堀之内南2-19-14(和合ビル) ☎ (025) 244-8011 FAX. (025) 244-8012

■横 浜 営 業 所 〒224-0033 横浜市区東区茅ヶ崎東3-17-43 ☎ (045) 943-8911 FAX. (045) 943-8912
 ■名古屋営業所 〒462-0043 名古屋市中区八代町1-9(北村ビル2F) ☎ (052) 914-3900 FAX. (052) 916-0892
 ■広島営業所 〒739-1734 広島市安佐北区口田1-8-17(小夫家ビル) ☎ (082) 845-2202 FAX. (082) 845-2203
 ■福岡営業所 〒812-0863 福岡市博多区全の原1-33-31 ☎ (092) 503-5200 FAX. (092) 503-5308
 ■加 須 工 場 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内) ☎ (0480) 65-1159 FAX. (0480) 65-7146